

とちぎ

2015

県政のあゆみ



事件・事故の情報を電子地図上で確認

「ルリちゃんパトロールマップ」の開設

1月

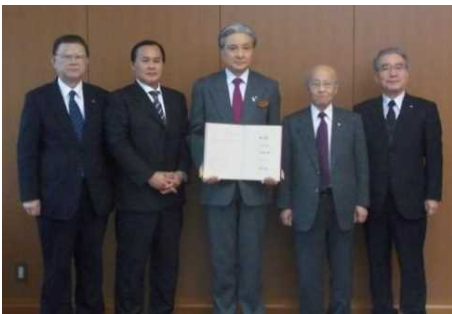
栃木県警察では、県内で発生した全ての人身事故の場所や形態、犯罪の発生状況等をホームページ上の地図で確認できる専用サイト「ルリちゃんパトロールマップ」を、1月1日に開設しました。利用者自身が地図上に、交通事故情報を文字や図形などで書き込める「オリジナルマップ機能」を備えています。情報は地図上に随時追加されるので、事件・事故の予防につながる事が期待されます。



備えあれば憂いなし！

BCP 策定支援に関する協定を締結

1月



県と東京海上日動火災保険株式会社、一般社団法人栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会および栃木県中小企業団体中央会は、1月22日、地震等の災害発生時に県内事業者の被害を最小限にとどめつつ、事業の継続および早期復旧に資することを目的とした、BCP 策定支援のための協定を締結しました。

これにより、県内事業者の BCP 策定がさらに進み、災害発生時のリスク対応力の向上と競争力の強化につながる事が期待されます。

環境負荷の低減へ

県央浄化センターで消化ガス発電開始

1月

1月23日、県央浄化センターにおいて、平成24年度から整備を進めてきた消化ガス発電設備が完成し、起電式を実施しました。消化ガス発電により、環境負荷の低減や、発電した電力を売電することで下水道施設の維持管理コストの低減などが期待されます。



4月からは鬼怒川上流浄化センターと巴波川浄化センター、5月からは北那須浄化センターにおいても消化ガス発電を実施しています。

2月-3月

全国に跨れる安全で安心な処分場の整備に向けて

「馬頭最終処分場基本設計書」決定

2月



県が那珂川町で整備を進める県営管理型産業廃棄物最終処分場について、2月6日に基本設計書を決定しました。県営最終処分場の整備には、「旧馬頭町北沢地区の不法投棄物の撤去」と「県内に設置されていない管理型産業廃棄物最終処分場の確保」という2つの大きな目的があります。平成34年度の完成を目指し、基本設計では埋立地をクローズド型(屋根付き)にするなど最新技術を導入し、多重安全システムを備えたうえで、安全で安心できる最終処分場の整備を進めることとしました。

災害医療のエキスパートを目指して

栃木県災害医療コーディネーター研修

2月

災害医療コーディネーターをはじめとする災害医療従事者の知識習得や連携強化を目的とする、災害医療コーディネーター研修を、2月9日・10日に本県で初めて実施しました。

病院や消防などの関係機関から約80名が参加し、1日目は講義形式、2日目は実習や机上演習形式で研修が行われ、災害医療コーディネーターの役割などについて理解を深めました。



世界遺産「日光の社寺」への参道整備

一般国道119号石屋町工区竣工

3月



県では、国際観光都市日光の玄関口に位置するJR日光駅や東武日光駅から、世界遺産「日光の社寺」へつながる一般国道119号(日光街道)の歩道拡幅と電線類の地中化事業を進めています。平成20年度に整備の完了した松原町工区(約0.2キロメートル)に引き続き、3月17日には石屋町工区(約0.3キロメートル)が完成。国内観光客や外国人観光客の安全で快適な歩行空間が確保されました。引き続き御幸町工区(約0.3キロメートル)に着手しています。

3月

起業の夢を後押し！

とちぎビジネスプランコンテスト

3月18日、県庁において「とちぎビジネスプランコンテスト」の最終審査会を開催しました。このコンテストは、創業意欲の喚起や創業支援を図るため、県や商工団体等が実施する創業塾を修了または受講している方を対象に初めて開催したもので、35件の応募がありました。最終審査会では、1次および2次審査を通過した5名がビジネスプランを発表。同日、最優秀賞などの各賞が決定し、表彰が行われました。



3月

ウォーキングを通して健康づくり！

とちぎ健康づくりロードホームページ開設



ウォーキングを通して健康づくりに対する県民の関心を高めることを目的に、県内各地のウォーキングコース「とちぎ健康づくりロード」を紹介するホームページを、3月24日に開設しました。

歩いてみたいコースを「エリア」や「キーワード」、「市町村名」などから検索できるほか、QRコードからウォーキングコースのマップを簡単に入手することが可能。また、利用者登録をすれば、歩いた日や距離、消費カロリー等をグラフで見ることができ、日常の健康管理に役立てることができます。

3月

県庁舎のエネルギー使用量を見える化！

県庁スマートエネルギーマネジメントシステム運用開始

東日本大震災以降の徹底した省エネルギーの取り組み定着を図るため、3月30日、県本庁舎および地方合同庁舎10庁舎におけるリアルタイムのエネルギー（電気、ガス、燃油、水道）使用量を、各庁舎と専用のホームページで閲覧できるシステムの運用を開始しました。

各庁舎のディスプレイでは当日の時間当たりのエネルギー使用量や太陽光発電量が、ホームページでは



3月

エネルギー使用量等のほかに県が設置した電気自動車用充電器の使用状況が確認できます。

4月

とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017 に向かって

技能五輪・アビリンピック推進室看板設置式

4月



とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017(国内の若者が技能レベル日本一を競う技能五輪全国大会と、障害者が日々鍛錬した技能を競う全国アビリンピック)が、平成 29 年 11 月、本県で開催されます。大会開催に向け、4 月 1 日に県産業労働観光部労働政策課内に「技能五輪・アビリンピック推進室」が新設されました。この大会をオールとちぎ体制で盛り上げ、成功させるよう準備を進めていきます。

活動再開を期待する県民の要望に応える

「カラーガード隊」が 12 年ぶりに復活

4月

平成 15 年から活動を休止していた栃木県警察音楽隊の「カラーガード隊」が 12 年ぶりに復活し、4 月 1 日、女性隊員 7 名に辞令が交付されました。

7 月 18 日に開催された「県民ふれあい警察展」において初演技を披露。その後も交通安全や地域安全運動などのイベントを中心に、音楽隊の演奏に合わせた躍動的な演技を多くの人に楽しんでいただいています。



多くの県民から親しまれる存在となれるよう、今後も心を込めて活動していきます。

歓楽街の安全・安心の確保に向けて

歓楽街対策室の設置

4月



栃木県警察では、誰もが安心して歓楽街に足を運べるよう、4 月 1 日、生活環境課内に「歓楽街対策室」を設置しました。

同室では、JR 宇都宮駅東口をはじめとする 3 地区の歓楽街を中心として、客引きなどの迷惑行為や違法風俗店等の取締りを強化しているほか、関係機関や地域住民の方々とともに防犯パトロールを行うなど、各種対策を強力に推進しています。

県立博物館来館者 500 万人達成

知事から記念品を贈呈

県立博物館は昭和 57 年 10 月 23 日に開館して以来、本県の歴史や文化、自然について県内外に情報を発信してきました。開館から 33 年目の 4 月 18 日、来館者 500 万人を達成し、500 万人目となった姉弟へ知事から記念品が贈呈されました。当日は、企画展「桜～野生のサクウいろいろ～」の開催期間中で、きれいな桜のバナーの前で行われた記念式典では、県立博物館マスコットの「みーたん」を模したくす玉から桜吹雪が舞い散り、文字通り式典に花を添えました。

4月



栃木きらめ木プロジェクト始動

「きらめ木」メインセレモニー



県全域における緑化活動の普及とその連携を推進する「栃木きらめ木プロジェクト」。そのキックオフイベントとして、4 月 18 日に「きらめ木」メインセレモニーを開催しました。セレモニーでは、キャンペーンテーマの表彰、緑化功労者表彰、苗木リレー式、苗木配布などを行いました。併せて、森林の大切さの理解を促進し、県土緑化の推進を図るため、緑づくりの重要性を学ぶことのできる参加・体験型のイベント「とちぎグリーンフェア」を開催しました。

4月

企業の海外展開支援の拠点に

ジェトロ栃木貿易情報センター開所

県と県内市町、商工団体、金融機関などがオールとちぎで誘致してきたジェトロ栃木貿易情報センターが、宇都宮市ゆいの杜にあるとちぎ産業創造プラザ内に開設され、4 月 21 日、その開所式が開催されました。共同記者会見で福田知事は、「ジェトロのネットワークを活用したさらなる海外市場への売り込み、外資系企業の誘致やバイヤー招へいなどにより地域経済の活性化を図っていききたい」と決意を新たにしました。

4月



大阪で7年ぶりの企業誘致イベント開催 とちぎ企業誘致セミナーIN大阪

5月



関西方面から本県への立地促進を図るため、平成20年以来、関西地方では7年ぶりとなる企業誘致セミナーを、5月18日に大阪市内で開催しました。この日は、関西地方に本社や拠点を持つ企業をはじめ、金融機関、不動産業者など企業立地に関わる37社62名が参加。セミナーでは、県のPR映像を上映後、福田知事がプレゼンテーションを行い、交通利便性や大規模な自然災害の少なさなど、本県の優れた企業立地環境をアピールしました。

大規模災害時の連携強化

5月

「大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議」合同情報伝達訓練

大規模災害時における公共土木施設の復旧について、国、自衛隊、警察、県、(一社)栃木県建設業協会が連携し迅速な初動対応が図れるよう、5月19日に合同情報伝達訓練を実施しました。



今回の訓練は大雪による交通遮断や孤立集落の発生を想定。通信機器を用いたの情報伝達や、現地からの写真や映像の伝送を交えて訓練を行いました。

新人の介護職員を知事が応援！

5月

平成27年度栃木県介護職員合同入職式



県内の介護施設や事業所に就職した約180名の新人介護職員を対象とした「栃木県介護職員合同入職式」を、5月29日に県総合文化センターで初めて開催しました。式では、福田知事から激励のメッセージ証が交付された後、新人介護職員代表が「心を込めた介護サービスを行っていく」と誓いの言葉を述べました。入職式に続いて開かれた交流会では、先輩職員も交え、参加者たちがお互いの交流を深めました。

とちぎの旅をもっと楽しく！もっとおいしく！！

6月

「本物の出会い 栃木ふるさと旅行券」発行と「ふるさと名物商品」の販売

国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用した緊急経済対策として、県内における消費喚起・拡大を図るため、県内にある宿泊施設での宿泊時に使用できる「本物の出会い 栃木ふるさと旅行券」を発行しました。また、本県の魅力ある県産品“とちぎのいいもの”を「ふるさと名物商品」として「とちまるショップ」やネットショップなどで3割引で販売し、大いに人気を博しました。



自慢できる本県の100の地域資源を選定

6月

「とちぎの百様」認定証授与式



後世に残したい、大切にしたい、自慢できる本県の100の地域資源を選定し、敬意と親しみを込めて「とちぎの百様」と名付けました。6月15日の「県民の日」には、県議会議事堂と昭和館正庁で認定証授与式を行いました。「とちぎの百様」を効果的に活用し、県民の郷土愛の醸成と本県のブランド力の向上を図っていきます。

宇都宮市と鹿沼市のアクセス強化

6月

主要地方道 宇都宮鹿沼線 荒針工区4車線化供用開始

宇都宮市と鹿沼市とのアクセス強化、渋滞緩和、自転車・歩行者の安全確保を目的に、平成12年度から4車線化整備を進めてきた荒針工区(延長1.5キロメートル)が、6月16日、西側の1.1キロメートル区間の完成により全区間の供用開始となりました。これによって、広域的な連携の強化や安全で円滑な通行の確保が図れることから、当該地域の発展が期待されます。



特殊詐欺被害の撲滅に向けて 「特殊詐欺撲滅の日」の指定

6月



社会問題化している特殊詐欺の被害を防ぐため、栃木県警察では「県民の日」である6月15日を、新たに「特殊詐欺撲滅の日」として指定しました。

この日には、県内各地で一斉キャンペーンが開催され、県議会議事堂では、特殊詐欺の手口を再現した寸劇を披露するなど県民に注意を呼び掛けたほか、「特殊詐欺に遭わない抵抗力を一人ひとりが身につけ、地域社会全体で被害の根絶に向けた取り組みを推進しなければならない」と、力強く特殊詐欺撲滅を宣言しました。

とちぎの未来を担う若者に期待

6月

日本大学とのUIターン就職促進協定締結式

とちぎの産業界の活力となる若手人材を確保するとともに、人口減少問題の克服を図るため、県外大学において本県出身の進学者数が最も多い日本大学を第1号として、首都圏大学との「UIターン就職促進協定」を締結しました。平成28年2月末までに77校の大学等と協定を締結。これにより、学内で開催する就職ガイダンスへの職員の派遣や企業情報提供などの相互連携・協働の取り組みを行い、本県出身者をはじめとし、本県企業に関心のある学生の県内への就職促進を図ります。



県民の“声”を県政に

6月

第100回とちぎ元気フォーラム

県では、開かれた県政の推進と県民の声を県政に反映させるため、県民と知事が県政について直接意見交換を行う「知事と語ろう!とちぎ元気フォーラム」を開催しています。



6月27日には、100回目となる元気フォーラムを県庁で開催し、「これからの“とちぎ”」をテーマに福田知事と県内に在住、通勤・通学する約70人が、「少子化・子育て・男女共同参画社会」や「産業の振興・雇用」などについて、活発な意見交換を行いました。

大会の開催に向けた準備が本格始動

7月

とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017 推進協議会設立総会・第1回総会

7月10日、県民一丸となって「とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017」に取り組むため、福田知事を会長に経済団体や関係機関・団体等で構成する「とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017 推進協議会」を設立しました。



引き続き開催された第1回総会では福田知事が、技術を伝承していく仕組みづくりの大切さについて語り、今後の活動等について関係者らと協議を行いました。

第77回国民体育大会に向けて

7月

県準備委員会第2回総会開催



7月13日に「第77回国民体育大会栃木県準備委員会」の第2回総会を開催しました。国民体育大会は国内最大の国民スポーツの祭典であり、平成34年秋の本県開催に向けて準備を進めています。この日開催された総会では、県と会場市町と競技団体をつなぐシンボルとして、全市町と栃木県体育協会に国体旗の贈呈が行われました。

「とちぎ和牛」をお得に味わおう！

7月

プレミアム付き「とちぎ和牛」商品券販売

県のリーディングブランド「とちぎ和牛」の認知度向上と、新たな消費の掘り起こしや継続的な消費喚起を図るため、7月24日からプレミアム付き「とちぎ和牛」商品券の販売を開始しました。



10万冊発行した5,000円分の商品券は完売し、県内外の精肉店・飲食店など約200店舗で利用されました。利用者・参加店舗からは、「とちぎ和牛を初めて知った」「美味しかったので、また食べたい」「商品券のおかげで新規客が来店した」などと大好評。

今後とも、「とちぎ和牛」の品質向上と消費拡大の支援を行っていきます。

7月-8月

難病支援の拠点がとちぎ健康の森に 「とちぎ難病相談支援センター」移転

7月



地域で生活する難病患者の日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進および就労支援などを行う「とちぎ難病相談支援センター」が、患者支援の充実や患者・家族の利便性の向上を図るため、7月24日に県庁の健康増進課内から「とちぎ健康の森」に移転しました。

今後とも、センターを拠点に難病患者などの療養上、日常生活上での悩みや不安等の解消を図るとともに、きめ細かな相談や支援を行っていきます。

県版災害派遣医療チームを養成

栃木県 DMAT 養成研修

7月

県版の災害派遣医療チーム(DMAT)を養成する「栃木県 DMAT 養成研修」を、7月25日・26日に本県で初めて開催しました。県内医療機関の医師や看護師など25名が受講し、被災地での医療に必要な知識や技能を習得しました。

本研修を受講した医師などは、今後DMATとして主に県内で発生した災害などに対応します。



7年後の大きな飛躍を誓う

「チームとちぎジュニア選手」認定

8月



8月8日、県総合文化センターメインホールにおいて、「チームとちぎジュニア選手」認定証授与式が初めて開催されました。平成34年に本県で開催する国民体育大会で中心選手となる小学校4年生から6年生548名が、認定されました。

今後、全国や世界の舞台で活躍することが期待されます。

8月-9月

海外選手団のキャンプ地誘致第1号！

ハンガリー陸上競技選手団の事前キャンプ受け入れ

8月

8月12日から20日にかけて、県総合運動公園陸上競技場において、世界陸上競技選手権北京大会に向けたハンガリー陸上競技選手団の事前キャンプを受け入れました。キャンプではコーチ5名の指導のもと、選手6名が大会直前の最終調整に汗を流しました。期間中、公開練習やスポーツ教室を実施した選手団は写真撮影やサインに快く応じ、多くの県民がトップアスリートたちと交流することができました。



災害に備えて

栃木県・小山市総合防災訓練

8月



8月30日、小山市石ノ上河川広場で、県と小山市の共催により総合防災訓練を実施しました。

約120団体の約1,400名が参加し、東日本大震災の教訓を踏まえ、警察・消防・自衛隊等の防災関係機関の連携による救出・救護をはじめ、地元の自主防災組織や小・中学生による初期消火・避難、災害派遣医療チーム(DMAT)による救助、ライフライン復旧、災害時の応援協定に基づく緊急物資輸送など、さまざまな訓練が行われました。

オールとちぎで連携医療

大規模地震時医療活動訓練(SCU訓練)

9月

9月1日、陸上自衛隊北宇都宮駐屯地において、大規模地震時の医療活動訓練を実施しました。

災害派遣医療チーム(DMAT)や消防などの関係機関、ボランティアなど約50名が参加し、航空搬送拠点臨時医療施設(SCU)を立ち上げました。首都直下地震を想定し、被災地から航空機により搬送される重症患者を受け入れ、SCU診療や患者搬送の優先順位を決めるトリアージなどを行った後、救急車で災害拠点病院に搬送しました。



大規模災害への対応

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨

9月



9月9日から11日にかけて県内を襲った大雨では、河川の氾濫・土砂崩れなどにより死者3名、負傷者6名の人的被害に加え、6,056件にもものぼる住家への被害が生じました。

県では9月10日早朝、豪雨災害に対する災害対策本部を設置し、各種関係機関と連携しながら、災害情報の収集や発信、災害救助法に基づく応急救助、義援金の受付・配分、公共施設の応急対策などの各種災害対策を実施しました。

栃木県警察では被害情報の収集、被災者の救出・救助、被災者支援等の災害警備諸活動を実施。土砂災害現場では、栃木県警察関東管区機動隊員等が、大雨で家屋が倒壊する危険と背中合わせの中で、懸命の救出・救助活動を実施したほか、孤立した集落では、管轄警察署員が地域住民の不安解消のため、24時間体制の警戒警ら活動を実施しました。



ぬいぐるみの「しろくま」を知事・とちまるくんが表彰!?

4月・9月

栃木県スポーツ功労賞



本県出身の世界大会のメダリスト2選手に対し、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、栃木県スポーツ功労賞を授与しました。

今回受賞したのは、第18回冬季デフリンピック競技大会で2つの金メダルを獲得した原田 上選手と、サッカー女子ワールドカップカナダ2015で準優勝した日本代表「なでしこジャパン」の安藤 梢選手です。

また、左足骨折による負傷からチーム離脱を余儀なくされた安藤選手に代わってベンチから元気を送り、なでしこジャパンの団結力を深めることに貢献したぬいぐるみの「しろくま」にも「元気力アップ24賞」として福田知事・とちまるくんの連名で賞状とメダルが授与されました。



9月-10月

とちぎの木材の魅力を語ろう

とち木の女子 de トーク会

9月



とちぎの木材の認知度向上を図るため、女性目線でPR方法等を考える「女子会」の設立に向けたキックオフイベントとして、9月12日、県庁東館講堂において「とち木の女子 de トーク会」を開催しました。さまざまな年代、業種、一般消費者である主婦など、約60人の女性が参加し、木材利用について学んだ後、グループに分かれて「木の魅力とは」などのテーマに沿った意見交換を行い、参加者同士の交流を深めました。

目指せ！健康長寿日本一

とちぎ健康フェスタ 2015

10月

10月18日、とちぎ健康の森で「目指せ！健康長寿日本一」をテーマに、県民の皆さんの健康づくりを応援するイベント「とちぎ健康フェスタ 2015」を開催しました。

約1,500名の方が来場し、予防医学研究者 石川 善樹さんの講演「健康長寿の秘けつを教えます！」や、健康づくりに取り組む団体による健康測定・運動体験等のブース展示、ヘルシー弁当の販売などが行われ、日頃の健康づくりに役立つヒントが盛りだくさんのイベントとなりました。



地理空間情報の活用

「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」締結式

10月



10月21日、県は国土地理院と、それぞれが保有する地理空間情報の相互活用および情報・技術の提供に関し、連携および協力を強化するとともに、災害対応および平時において、迅速かつ効果的に防災・減災を推進するための協定を締結しました。これにより、円滑なデータの受け渡しが可能となるため、災害発生時の空中写真など地理空間情報を活用した効率的な事業執行が可能となります。

薬物乱用の根絶に向けて

10月

栃木県薬物の濫用の防止に関する条例制定記念県民大会

「栃木県薬物の濫用の防止に関する条例」が10月1日から全面施行されたのに合わせ、10月22日に県総合文化センターで条例制定記念大会を開催しました。当日は、薬物乱用防止学生サポーター“ダメ♥ゼツ隊”による危険ドラッグ追放宣言とともに、覚醒剤も危険ドラッグも「買わない!」「使わない!」「かかわらない!」「ダメ。ゼツタイ。」と、会場全員がシュプレヒコールをあげました。また、記念講演会では乱用薬物の危険性を学び、「薬物乱用のないとちぎ」を目指して、県民が一体となって取り組むきっかけとなるようなイベントとなりました。



栃木のご当地新メニュー「とちぎ“きらり丼”」誕生!

10月

とちぎ“食と農”ふれあいフェア2015



県庁および周辺施設を会場に「とちぎ“食と農”ふれあいフェア2015」が10月24日・25日に開催され、2日間で約10万3,000名の方が来場しました。

今回のフェアのテーマは「きらりと光る とちぎの恵み」。これにちなんだ目玉企画の1つとして、県産農産物のリーディングブランド「とちぎ和牛」と「なすひかり」の黄金コンビに、全国第2位の生産量を誇る「にら」を加えたとちぎのご当地新メニュー「とちぎ“きらり丼”」が初披露され、多くの来場者にとちぎの美味しい恵みを堪能していただきました。



先の大戦での戦没者の冥福を祈って

第50回記念栃木県南方方面戦没者追悼式および島守の塔参拝

10月

先の大戦での本県出身3万1千余人の戦没者を慰霊する「南方方面戦没者追悼式」(栃木県遺族連合会主催)が、10月27日に沖縄県糸満市摩文仁^{まぶに}の丘にある「栃木の塔」で行われ、福田知事が参列しました。



式では、知事が「先の大戦で学んだ教訓と平和の尊さを次の世代に語り継いでいくことが、今を生きる私たちの責務です」と述べ、追悼の意を表しました。その後、参列者全員で献花し、戦没者の冥福を祈りました。



式後には、沖縄戦当時に沖縄県警察部長として多くの島民の疎開に力を尽くした宇都宮市出身の荒井 退造氏をはじめ、殉死した沖縄県職員をまつる「島守の塔」のほか、退造氏が消息を絶ったといわれる地に建てられた「終焉之地^{しゅうえんのち}の碑」にも献花を行い、その偉業に思いをはせました。

2015始動 未来を創る15の戦略

「とちぎ創生^{いちご}15戦略」を策定

10月

県では、急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたり地域の活力を維持していくため、5年間(2015～2019年度)の目標や基本的方向を定めた「とちぎ創生^{いちご}15戦略」を策定しました。「とちぎに安定したしごとをつくる」、「とちぎへの新しいひとの流れをつくる」、「とちぎで結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る」の4つの基本目標の下、15の戦略により、とちぎの未来創生に果敢にチャレンジしていきます。



11月

ヘルシーな食事の提供や禁煙・分煙等に取り組む店舗・企業を登録・公表

健康長寿とちぎ応援企業等の登録制度を創設

11月

県民の健康づくりを応援する店舗・企業を「とちぎのヘルシーグルメ推進店」、「とちぎ禁煙・分煙推進店」、「健康長寿とちぎ応援企業」として登録・公表する3つの制度を創設しました。11月2日から登録店舗・企業の募集を開始し、登録企業等の情報などをホームページで紹介しています。

「とちぎのヘルシーグルメ推進店」、「とちぎ禁煙・分煙推進店」の店頭には、同制度の登録店舗であることが分かるよう、ステッカーが掲示されています。



本県の投資環境について福田知事が都内でトップセールス

11月

栃木県外資系企業誘致セミナー



本県の投資・ビジネス環境をPRし、外資系企業の誘致を促進するため、11月4日、県とジェトロの共催で外資系企業や在日大使館関係者などを対象としたセミナーを東京で開催しました。

福田知事が本県の投資環境や立地するメリットなどを説明したほか、すでに本県に立地している外資系企業から、本県に立地した理由などについて説明がありました。

文化振興への貢献をたたえて

11月

栃木県文化功労者表彰

本県の文化の振興に著しい貢献をされた方々を栃木県文化功労者として表彰しており、平成27年度は、本県食文化の普及・発展に寄与された音羽和紀さん(左)と、光学研究の第一人者であり、本県光産業の発展に寄与された谷田貝豊彦さん(右)が選ばれました。



11月6日に表彰式が行われ、第1回表彰(昭和24年)以来の受章者は、合計143人(学術37人、芸術75人、そのほか31人)になりました。

11月

“フードバレーとちぎ” 推進協議会設立 5周年を記念して フードバレーとちぎフェスティバル

11月



フードバレーとちぎ推進協議会設立5周年を記念して、“フードバレーとちぎ”の取り組みにより開発された新商品等を紹介する「フードバレーとちぎフェスティバル」を、11月14日、「道の駅しもつけ」で開催しました。協議会の会員20社に加え、企業と連携して商品開発を行った高等学校3校の生徒が参加し、来場者に“フードバレーとちぎ”の取り組みを発信しました。

国内外で活躍した方々を招待

11月

“輝くとちぎ人”の集い

11月23日、スポーツ・文化・学術・技能などの各分野で国内または国外において、顕著な功績があった方々に対して感謝と激励の意を表するとともに、その功績を広く県内外に発信するため、“輝くとちぎ人”の集いを県公館で初めて開催しました。

平成27年度栃木県文化功労者の音羽和紀さん、谷田貝豊彦さん、全国大会の入賞者などさまざまな分野で活躍する約180名が参加。この日欠席した東京ヤクルトスワローズの真中満監督からは、参加者へメッセージが贈られました。



中小企業等と投資家等とのマッチング支援

11月

第1回とちぎビジネスチャレンジサミット



11月26日、創業期・成長期にある中小企業等の資金調達やビジネスパートナーの獲得を支援する「とちぎビジネスチャレンジサミット」を初めて開催しました。投資家や金融機関等の参加者に対し、県内の企業などから10名が斬新なビジネスモデルや優れた技術シーズをプレゼンテーション。また、隣接会場では、発表者らが実際に技術シーズ等を展示し、参加者へ自らの強みをアピールしました。

障害を理由とする差別を解消しよう！

障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム

12月

12月3日から9日の「障害者週間」に合わせ、12月9日に、「障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム」を内閣府と共催で実施しました。障害者やその家族、有識者が、障害を理由とする差別の解消についてパネルディスカッションを行いました。また、「平成27年度栃木県心の輪を広げる障害者理解促進事業」の表彰式や表彰を受けた優秀作品の展示、「ナイスハートバザール in 県庁」を開催し、障害や障害者への理解を深める機会となりました。



「スカイベリー」をたくさんの人に

県内外でPRイベントを開催

11月・12月

本格販売2年目となる「スカイベリー」をアピールするため、県内外でPRイベントを行



いました。11月23日には、日光東照宮五重塔前で、「スカイベリーPRキックオフミーティング in 東照宮」を開催。当日は、馬場副知事やJA栃木中央会高橋会長などによる鏡開きに始まり、和太鼓奏者の谷口 武芳さんや書道家の涼風花さんによるパフォーマンスが披露されました。また、スカイベリーを応援する「スカイベリーメッセンジャーズ」が任命され、その初仕事として来場者へのスカイベリー配布を行いました。

続く12月10日には、東京都内で「いちご王国とちぎ Christmas Skyberry Party」を開催。第1部として、「いちご王国」の国王に扮した福田知事がモデルの森 星さんをお迎えし、スカイベリータワーの点灯式やスカイベリーの魅力を伝えるトークセッションを行いました。森さんは「ここぞ！という大事な日に大切な人と食べてほしい」とコメント。第2部では、スカイベリーやスカイベリースイーツの試食・撮影会が行われました。



12月

矢板市街地の渋滞解消

主要地方道矢板那須線矢板バイパス開通

12月



平成17年度から整備を進めてきた矢板バイパス(延長4.2キロメートル)が、12月13日、南側の0.9キロメートル区間の完成により全区間が供用開始となりました。これにより矢板市街地における慢性的な渋滞が緩和され、自転車歩行者の安全が確保されるとともに、県北地域の持続的な発展が期待されます。

攻めの経営で地方創生を

栃木県プロフェッショナル人材戦略拠点開所式

12月

12月1日にとちぎ産業交流センターに開設した「栃木県プロフェッショナル人材戦略拠点」の開所式を、12月16日に開催しました。この拠点を中心に、新商品・新サービスの開発や販路開拓など県内中小企業の「攻めの経営」への意欲を喚起し、その実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の採用を支援していきます。地方創生に向け、県内中小企業が一層元気になることで、地域経済全体の成長力を高めていきます。



伝統の日光彫と熊野筆がコラボレーション

「日光筆」の開発

12月



日光地域の伝統工芸に携わる2団体(日光彫協同組合および日光伝統工芸組合協議会)と、日光市、日光商工会議所、県で構成する「日光伝統工芸品振興協議会」では、伝統工芸品を活用した新しい商品開発に取り組んでいます。今回、日光彫を施した軸と、広島県の熊野筆の筆先を組み合わせた新しい書道筆「日光筆」を開発。需要低迷や後継者不足が深刻化する伝統工芸品産業の発展が期待されます。

鹿沼市～宇都宮市～真岡市のアクセス強化

12月

都市計画道路 3・3・1 号鹿沼宇都宮線宇都宮市下栗町工区開通

平成17年度からバイパス整備および現道拡幅により4車線化を進めてきた都市計画道路3・3・1号鹿沼宇都宮線宇都宮市下栗町工区(延長1.3キロメートル)が、12月19日に開通しました。

この道路の開通により、交通渋滞の緩和や自転車・歩行者の安全確保、良好な都市環境の形成、都市防災機能などの向上などが図られ、県土の発展に大きく寄与することが期待されます。



と	ち	ぎ
県	政	の
あ	ゆ	み
2015		

月	日	できごと
1月	1	「ルリちゃんパトロールマップ」の開設
	8	農業の6次産業化実践者研修・交流会
	9	栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式
	19	こどもエコクラブ壁新聞コンテスト審査会
	19	二条大麦新品種「ニューサチホゴールデン」の開発
	20	とちぎ食と農の展示・商談会 2015
	22	「BCP 策定支援に関する協定」締結
	23	県央浄化センターで消化ガス発電開始
2月	24	栃木県文化振興大会
	4	栃木県元気な農業コンクール表彰式
	4	エコ農業とちぎ推進シンポジウム
	5	ねんりんピック栃木 2014 実行委員会第4回総会
	5	森林・林業コンクール表彰式
	6	「馬頭最終処分場基本設計書」決定
	9	毎日農業記録章表彰式
	9	栃木県災害医療コーディネート研修
	10	栃木県農業青年研究大会
	10	栃木県青少年クラブ協議会設立60周年記念大会
	13	環境とみどりの県民大会
	17	平成26年度栃木県きもの展示品評会(18日まで)
	21	スカイベリー祭り(22日まで)

3月	7	廃棄物処理施設県民バスツアー(8月5日、11月28日にも開催)
	11	「とちぎ防災の日」記念式典
	13	“フードパレーとちぎ”観光地商談会(日光地区)
	13	栃木県農業大学校卒業式
	14	上野東京ライン開業
	17	ヤマト運輸(株)との包括連携協定締結
	17	一般国道119号石屋町工区竣工
	18	とちぎビジネスプランコンテスト最終審査会
	19	塩原ダム ESCO 発電開始式典
	21	自殺予防イベント「こころカフェ」
	24	とちぎ健康づくりロードホームページ開設
4月	25	「森づくりに関する協定」締結(サントリーホールディングス(株))
	26	水稻新品種「とちぎの星」の品種登録
	27	宇都宮南警察署下栗町交番開所
	30	県庁スマートエネルギーマネジメントシステム運用開始
	1	技能五輪・アビリンピック推進室看板設置式
	1	「カラーガード隊」辞令交付
	1	歓楽街対策室の設置
	1	「本物の出会い 栃木」春の観光キャンペーン(6月30日まで)
	1	「森づくりに関する協定」締結((一社)栃木県トラック協会)
	2	緑化啓発活動や県のイメージアップ活動を行う「マロニエメイツ」任命式
	8	栃木県農業大学校入学式
	9	林業経営コンクール(16日にも開催)
	10	いちご「スカイベリー」図形商標の登録
	14	あじさい新品種「きらきら星」の品種登録
	18	県立博物館来館者500万人達成
	18	栃木きらめ木プロジェクト「きらめ木」メインセレモニー
	21	ジェトロ栃木貿易情報センター開所
21	とちぎっ子学習状況調査	
24	栃木県スポーツ功労賞表彰式(原田上選手)	
27	栃木県地球温暖化防止活動推進員委嘱状交付式	

5月	7	栃木県農業大学校生による知事夫人への「母の日」カーネーション贈呈	6月	19	なし新品種「おりひめ」の品種登録			
	8	春の交通安全県民総ぐるみ運動オープニングセレモニー		20	パルティ開館 20 周年 男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」			
	9	第 29 回栃木県看護大会および第 25 回「看護の日」記念行事		26	日本大学との UIJ ターン就職促進協定締結式			
	11	春の交通安全県民総ぐるみ運動(20 日まで)		27	知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム 県庁版			
	16	ねんりんピックとちぎ 2015(31 日まで)		7月	1	健康長寿とちぎづくり推進県民会議総会		
	14	第 69 回栃木県芸術祭(11 月 23 日まで)			2	栃木県「山の日」協議会定期総会		
	15	消費者のつどい			8	第 49 回交通安全子供自転車大会		
	17	渡良瀬遊水地外来植物除去活動			10	とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017 推進協議会設立第 1 回総会		
	18	とちぎ企業誘致セミナー IN 大阪			13	第 77 回国民体育大会栃木県準備委員会第 2 回総会		
	19	「大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議」合同情報伝達訓練			14	栃木県・野木町防災図上訓練		
	22	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」3 周年記念イベント			17	とちぎ企業立地・定着促進セミナー(東京都)		
	22	「馬頭最終処分場環境影響評価書」決定			18	溪流魚を使用したメニュー提案会の開催		
	22	とちぎの元気な森づくり県民会議総会			23	農業の 6 次産業化シンポジウム～地域での 6 次産業化を戦略的にすすめよう～		
	25	フードバレーとちぎ推進協議会総会			24	とちぎ食の夏まつり 2015		
	27	栃木県農業大学校への畜産酪農研究センターから高能力乳用牛の導入			24	プレミアム付き「とちぎ和牛」商品券発売		
	29	平成 27 年度栃木県介護職員合同入職式			24	「とちぎ難病相談支援センター」がとちぎ健康の森に移転		
	31	とちぎの環境美化県民運動県民統一行動			25	栃木県 DMAT 養成研修		
	6月	1			ふるさと名物商品販売開始	8月	27	足利市・野木町の新産業団地開発に係る事業実施の決定
		2			不法投棄パトロール出発式		1	農業試験場公開デー
2		スカイパトロール(11 日、11 月 6 日にも実施)	1		フォレストワーカーズクラブ@とちぎ設立総会			
3		栃木県農業大学校平成 27 年度オープンキャンパス(7 月 26 日にも開催)	5		廃棄物処理施設県民バスツアー(8 月 5 日、11 月 28 日にも開催)			
6		主要地方道 宇都宮鹿沼線 荒針工区 供用開始	6		学校関係緑化コンクール審査会			
7		土砂災害・全国防災訓練	6		第 37 回「全日本中学生水の作文コンクール」表彰式			
15		「とちぎの百様」認定証授与式	7	那須町の原木生しいたけ(施設栽培)の出荷制限の一部解除				
15		栃木県民の日記念イベント	8	「チームとちぎジュニア選手」認定				
15		とちぎナイスハートバザール in けんちょう(12 月 4 日、9 日にも開催)	11	プレ「山の日」記念 PR キャンペーン in とちぎ				
15		「特殊詐欺撲滅の日」の指定および県下一斉キャンペーンの実施	12	世界陸上競技選手権北京大会に向けたハンガリー陸上競技選手団の事前キャンプを受け入れ(20 日まで)				
15		周遊パスポート付き「本物の出会い 栃木ふるさと旅行券」応募受け付けを開始						

8月	20	とちぎのヘルシーグルメ選手権の入賞作品決定	
	20	とちぎのきのこ大使任命式	
	21	栃木県の伝統野菜・伝統食品ブランド化セミナー～地理的表示保護制度の活用に向けて～	
	24	アユを使用したメニュー提案会	
	25	8市町で乾しいたけの自肅要請を解除	
	27	第21回栃木県民福祉のつどい	
	28	プレミアムヤシオマス官能評価会	
	30	栃木県・小山市総合防災訓練	
	9月	1	大規模地震時医療活動訓練(SCU訓練)
		4	うんまい栃木県シリーズ(6日まで)
4		第55回栃木県公衆衛生大会(第53回栃木県公衆衛生学会、平成27年度救急医療週間記念大会も同時開催)	
5		第12回「なんびょうサポートとちぎのつどい」	
9		平成27年9月関東・東北豪雨	
12		とち木の女子 de トーク会	
15		栃木県農業大学の学生が包括連携協定に基づきイオン栃木店に出展	
17		とちぎ緊急観光PR隊派遣	
18		秋の交通安全県民総ぐるみ運動「交通安全の火」分火式	
18		「危険ドラッグ等の販売等防止に関する協定」締結((公社)栃木県宅地建物取引業協会、(公社)全日本不動産協会栃木県本部)	
18		エコ農業とちぎPRキャンペーン(11月18日まで)	
19		第38回栃木県少年の主張発表県大会	
19		子どもたちの木工工作コンクール表彰式	
19		奥日光夕景鑑賞イベント(27日まで)	
20		とちぎ木材フェスティバル「もくもくまつり2015」	
21		秋の交通安全県民総ぐるみ運動(30日まで)	
23		2015とちぎ動物愛護フェスティバル	
27		第11回栃木県障害者スポーツ大会	
30		栃木県スポーツ功労賞表彰式(安藤梢選手)	
10月		1	とちぎのきのこフェア(12月31日まで)

10月	3	栃木県認知症フォーラム
	3	エコ・もりフェア2015
	4	「山の日」制定記念シンポジウム みんなで「山の日」を考えよう!
	14	優良木材展示会(23日まで)
	14	第28回きこ料理コンクール
	15	健康長寿とちぎづくり(健康経営)連携協定締結式
	15	第5回交通安全高齢者自転車大会
	16	栃木県観光情報説明会(東京都)
	16	「とちぎのいいもの」まるごと商談会(東京都)
	16	元気な森づくりの日
	18	とちぎ健康フェスタ2015
	18	フレッシュファーマーズマルシェ2015
	21	「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」締結式
	22	国際見本市(Oishii JAPAN2015 シンガポール)(24日まで)
	22	栃木県薬物の濫用の防止に関する条例制定記念県民大会
	24	とちぎ“食と農”ふれあいフェア2015 とちぎ食育推進大会(25日まで)
	25	栃木県・県央地区災害対応訓練
	26	「森づくりに関する協定」締結(テイ・エス テック(株))
27	第50回記念栃木県南方方面戦没者追悼式および島守の塔参拝	
28	栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略」策定	
29	台湾誘客プロモーション(31日まで)	
11月	1	とちぎ林業 Grand prix 2015 in 県民の森
	2	県民の健康づくりを応援する店舗・企業の登録制度の創設
	4	栃木県外資系企業誘致セミナー
	4	“フードバレーとちぎ”売り込み商談会
	6	栃木県文化功労者表彰式
	6	栃木県・那須塩原市国民保護図上訓練 栃木県障害者文化祭～カルフルとちぎ2015 こころのつどい～(7日まで)
	7	第7回「介護の日」フェスティバル in けんちょう

11月	8	ラムサール条約湿地「奥日光の湿原」登録10周年記念式典・シンポジウム
	12	栃木県青少年健全育成成功労者等表彰式
	12	栃木県男女共同参画フォーラム
	14	ヒューマンフェスタとちぎ 2015 in 真岡
	14	フードバレーとちぎフェスティバル
	14	世界糖尿病デー ブルーライトアップ
	16	県営土地改良事業の換地業務に係る感謝状贈呈式
	18	とちぎ企業誘致セミナー(東京都)
	18	とちぎ未来大使と知事の意見交換会
	18	「とちぎ技能五輪・アビリンピック2017」2年前カウントダウンイベント
	19	栃木県農業担い手躍進大会
	19	よい歯のコンクール表彰式
	20	第7回栃木県交通・生活安全安心県民大会
	21	栃木県農業大学校創立110周年記念第39回農大祭(22日まで)
	21	パルティ開館20周年 フェスタ in パルティ 2015
	23	“輝くとちぎ人”の集い
	23	スカイベリーPR イベント「スカイベリーPRキックオフミーティング in 東照宮」
	25	一般国道293号 鹿沼南バイパス供用開始
	26	第1回とちぎビジネスチャレンジサミット
	27	ヒット商品創出テストマーケティング(29日まで)
28	心豊かな青少年を育む県民のつどい in さくら市	
29	とちぎ県民協働フェスタ 2015	
12月	4	ごみの散乱防止と3Rを進めるためのポスターコンテスト審査会
	7	栃木県農業大学校創立110周年記念講演会
	9	障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム
	9	栃木県心の輪を広げる障害者理解促進事業入選者表彰式
	10	スカイベリーPR イベント「いちご王国とちぎ Christmas Skyberry Party」
10	平成27年度栃木県きのこ・わさび展示品評会(11日まで)	

12月	11	年末の交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)
	13	主要地方道矢板那須線矢板バイパス開通
	16	栃木県プロフェッショナル人材戦略拠点開所式
	16	栃木県芸術祭表彰式
	17	「日光筆」の開発
	18	ジュニア知事さん表彰式 (小学4~6年生から「もしも知事になったら」をテーマに作文を募集)
	19	都市計画道路 3・3・1号鹿沼宇都宮線 宇都宮市下栗町工区開通
24	「栃木県中小企業・小規模企業の振興に関する条例」の施行	



とちぎ県政のあゆみ 2015

平成 28 年 3 月 31 日発行

編集・発行／栃木県県民生活部広報課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

☎ 028-623-2192 FAX 028-623-2160